

# 小規模企業景気動向調査

[平成29年6月期調査]

～先月までの改善の勢いは続かず、業種によってばらつきがみられた小規模企業景況～

2017年7月26日  
全国商工会連合会

## ＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## ＜産業全体＞ ◇…先月までの改善の勢いは続かず、業種によってばらつきがみられた小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は不変であった。項目別では、先月と比べ売上額DIがわずかに悪化、資金繰りDIは不変、採算DIはわずかに改善した。業種別の業況DIは、製造業が大幅改善、小売業がわずかに改善を示した一方、サービス業が小幅悪化、建設業がわずかに悪化し、業種によってばらつきがみられた結果となった。経営指導員からは、梅雨の季節であるが例年と比べ天気が良好であったため、製造業、建設業、小売業においてわずかながら売上の増加が見られた地域があったとの報告がある一方で、原材料高、人手不足、後継者不足といった課題はいまだ解決せず、全般的に停滞傾向にあるとの報告があった。

## ＜製造業＞ ◇…金属製品製造業を中心に好調であるも仕入価格上昇が懸念材料となっている製造業…◇

製造業の業況DIは大幅に改善した。項目別では、売上額DI、採算DI、資金繰りDIのいずれも小幅に改善した。経営指導員からは、金属製品製造業を中心に、輸送用機械に関連した電子部品・デバイス・電子回路製造業や建設関連のプラスチック製品製造業については、受注量が確保されており、好調であるとの報告があった一方で、食料品製造業や繊維工業では、原材料の仕入単価が上昇が利益を圧迫しているなど懸念材料が示された。

## ＜建設業＞ ◇…住宅やリフォームの民間工事が好調であるが、資材価格高騰や人手不足等より厳しい建設業…◇

建設業の売上額DIは先月に引き続き不変であったが、業況DI、採算DI、資金繰りDIはわずかに悪化した。今月は公共工事よりも民間工事、特にリフォーム関連の建設業が好調であったとのコメントが目立った。その一方で、新年度の入札が始まるも公共工事の発注量は依然として少なく、発注量の減少を補うために、個人住宅の建設やリフォーム関連の民間工事に参入しても、資材価格の高騰や人手不足により、利幅は少ないことや、人手不足により受注機会を逸している事業所もあるなど、厳しい状態が続いているとの報告があった。

## ＜小売業＞ ◇…一部でわずかな改善が見られるも、来月以降も改善が継続するかは見通せない小売業…◇

小売業の業況DIは、5ヶ月連続でわずかに改善した。売上額DIは不変で、採算DIの改善幅は小幅、資金繰りDIはわずかであった。品目別の業況については、食料品では小幅な悪化だったものの、衣料品では小幅な改善、耐久消費財では大幅な改善が見られた。経営指導員からは、食料品では魚介類の仕入価格高騰や、衣料品では衣替えが一段落したこと、耐久消費財では、家庭用クーラーやエアコン等の特定の季節になると需要が高まる季節家電の出足が鈍いとの報告があった。来月以降も改善が継続するかは先行きが見通せない。

## ＜サービス業＞ ◇…全項目で悪化を示し、先行きが見通せないサービス業…◇

サービス業の業況DIは、小幅に悪化した。項目別に見ると、売上額DIは大幅に悪化、採算DIと資金繰りDIはわずかに悪化した。経営指導員からは、6月は梅雨の時期であること、行楽につながるイベントに乏しく、また先月のような連休が無いことから、宿泊業が振るわなかったとの報告があった。また、運輸業の人材確保難は、有効な解決法がみられず、このまま夏のお中元シーズンを迎えなければならないことから、先行不安感が高まっている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲12.9	▲13.5	▲0.6	▲8.5	▲4.9	3.6	▲7.2	▲7.4	▲0.2
採算	▲15.9	▲14.4	1.5	▲14.6	▲10.3	4.3	▲12.2	▲13.8	▲1.6
資金繰り	▲11.9	▲11.6	0.3	▲10.9	▲8.1	2.8	▲10.7	▲12.3	▲1.6
業況	▲16.0	▲15.6	0.4	▲13.2	▲7.7	5.5	▲10.5	▲11.6	▲1.1

業種	小売業			サービス業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲24.5	▲24.5	0.0	▲11.7	▲17.2	▲5.5
採算	▲25.5	▲20.8	4.7	▲11.5	▲12.8	▲1.3
資金繰り	▲16.7	▲15.4	1.3	▲9.0	▲10.6	▲1.6
業況	▲27.0	▲25.1	1.9	▲13.2	▲17.9	▲4.7

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

## 小規模企業景気動向調査(6月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・平成28年度の入域観光客数は876万9,200人で、対前年度比で83万2,900人、率にして10.5%の増加となり、4年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新している。これに伴い観光客をターゲットとしている小売・サービス業の売上は順調に推移している。

(沖縄県南城市商工会)

・観光客が前年比で増加しており、主要である観光関連業の売上も増加している、他業種にも影響し概ね好況である。

(広島県宮島町商工会)

・当地域の景気は、昨年度と比較しほぼ横ばい。耐久消費財関連業種については仕入れ単価が上昇傾向にあるが個人消費の底堅さから業況が好転しているところもある。金融機関の貸出態度は昨年度と比較して若干前向きな感じを受ける。

(山口県下関市商工会)

・金融相談が急増している。特に設備資金が目立つ。金融機関は貸し出しに前向きである。

(三重県紀宝町商工会)

・地域の経済状況は、一部の業種については停滞感が見られるが、サービス業(旅館業・貸切バス・タクシーなど)については島外からの観光客が増加しており、依然として好調を維持している。

(長崎県新上五島町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・地域経済に影響の大きい旅館業が不調。特に6月はこの数年間の中で一番悪い売上月であったとのこと。金融機関の貸し出し態度には特に変化はない。

(石川県山中商工会)

・地域全般としては、依然好景気とは言い難い経済状況である。金融機関の貸し出し状況でも新規先からの融資申込が減少している傾向にある。

(茨城県取手市商工会)

・業績としては先月と変わらず不変状況であるように感じている。人手不足、後継者不足と地域全体の課題は改善されない。

(福島県内郷商工会)

・地域の経済状況は厳しく、野菜小売業等の利幅の低い事業者で倒産があった。金融機関の貸付態度は改善しており、地域において融資額は伸びている。

(鹿児島県日置市商工会)

・昨年より雨が少なく、茶葉の生産量が3割減少したため、仕入値が上がっている。1キロ1300円→1700円。採算が合わなくなってきており、新たな市場開拓を求める必要がある。

(滋賀県甲賀市商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・有機ELを製造するために使用する比較的大型の光学レンズの製造事業者が好調である。

(茨城県取手市商工会)

・大手コンビニに納入している製氷関連の製造業は、好調でさらに設備投資を行う予定。

繊維業は、売上停滞しているが、昨年と比較すると横ばい。

Casting関連の製造業は、積極的に国・県施策に取り組んでいるところは確実に販路を拡大してきている。

(兵庫県太子町商工会)

・FRP製造業が公共工事や民間からの受注増により経営状況が良くなっている。

(福岡県筑前町商工会)

・自動車関連・金属関連の製造業は受注量が確保されており、依然として好調を維持している。

(長野県佐久市望月商工会)

・弱電部品加工は堅調である。

(青森県野辺地町商工会)

・金属製品製造業では、業界としては現状維持だが、スポット的な受注増で売上が増加した。

バッグ製造業では、オーダーメイド受注により売上が増加している。

(岡山県備前東商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・織物業では、同業者の廃業により引き合いは増加しているが、単価が合わないため受注まで至っていない。ここに来て原材料仕入単価が上昇してきている。

(栃木県佐野市あそ商工会)

・食品製造業者で売上げは上がっているが、それ以上に原材料費が上がっており商品に転嫁できず利益を圧迫している。

(静岡県西伊豆町商工会)

・機械・金属関連の製造業では、受注が長続きしないため、採算、資金繰りも不安定である。

(愛知県長久手市商工会)

・繊維関係の製造業に関し、急な受注が飛び込み、時間外労働も止むを得ない状況。採算部分の問題あり。

(秋田県かづの商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

・公共工事受注増の為、土木工事は好況である

(福岡県大刀洗町商工会)

・リフォーム関連の建設業は、町内事業所が神戸等に出店したり、他地域の会社が町内に参入してきたり、業界自体が活況している様子。

(兵庫県太子町商工会)

・建築、住宅では、増税に向けての駆け込みか、新築やリフォームの受注があるようです。

特に、関東圏に顧客を持つ木製サッシの受注が好調と聞いた。

客層は富裕層、関東地区はデザイン性と共に防火対策や国産材使用などに拘る。

(石川県宝達志水町商工会)

・建築業は、小規模リフォームが中心であったが、戸建てが見られるようになってきている。

(兵庫県新温泉町商工会)

・鳥取県中部地震からの復興に伴う震災特需が継続しており、業界の業況は好転。この傾向は今後も暫くは続いていくと予想される。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・年度末の公共工事がひと段落したこともあり、土木系建設業は受注は減っている。地区内の受注がないため、他地区の受注に切り替える事業所も散見される。建築業も受注は少ないものの、独自性を出した(例:平屋建て特化住宅、光熱費ゼロ住宅、呼吸する住宅等々)事業所にはそれなりの受注は出ており、強みを打ち出すことの重要性を感じている。

(福岡県鞍手町商工会)

・土木工事関連については、年度末の工事が終了したばかりで、新年度の入札等が県・町等においてはこれからであるので、受注が少なくなっている。

(福岡県岡垣町商工会)

・木造住宅関連の建築業では、新築、リフォームともに安定した引き合い状況となっているが、現場の数に対し、職人不足が見られ、受注ができない状況が見られる。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・先月に引き続き、好調ではあるが資材高騰・人材不足により採算性が低い。また人材不足により受注機会を逸している事業所も多い。

(沖縄県うるま市商工会)

・土木や個人住宅の建設・リフォームなどの受注は増加傾向にあるが、材料費の価格上昇や人手不足のため受注調整などにより、採算は変わらない。

(香川県さぬき市商工会)

・自然災害による家屋の修繕など板金業やリフォームは堅調。しかし、建築は在来工法の建築が無く、ハウスメーカーの建築に偏り、減少気味。

(滋賀県愛荘町商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

・食料品小売業においては、南城市の人口が増加傾向にあることや、輸入品の仕入価格の低下により、売上・利益率ともに改善している。

(沖縄県南城市商工会)

・耐久消費財関連の小売業は個人消費が底堅く推移しているため、昨年度より好転している。

(山口県下関市商工会)

・衣料品関係の小売業は、価格等で量販店と勝負できないため、独自の商品を仕入れている店舗は来客数が増えている。

(神奈川県伊勢原市商工会)

・天気の影響のためか前年度に比べて売上の増加がみられた。耐久消費財は大きな変動はなかったが食料品においては目に見える増加がみられた。

(高知県黒潮町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・食料品関連の小売業では、地域のコンビニが多数出店している状況で競争が激化。消費者の分散が見られ1企業ごとの売上は減少している状況である。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・金物関連の小売業は、以前は大工さんが住宅1棟請け負うと、それに伴う金物関連の注文が10~20万円程度あったが、近年ハウスメーカーで家を建てるケースが増え、以前のような売り上げはなくなった。

(静岡県新居町商工会)

・個人消費が依然として横ばい傾向にあるために売上高の伸びがにぶいまま推移している。食料品関連は大型店では伸びているが、小規模店では伸びが見られない。

特にアパレル関係は依然として厳しい環境が続いているなか、夏に向けての消費増加を見込むところが多い。

(兵庫県川西市商工会)

・小売業全般として、大手スーパーやコンビニエンスストアと比較して品揃えや価格競争面に乏しく生存競争が激化傾向にある。

(茨城県取手市商工会)

・食料品小売業は、酒税法の改正による価格競争に対抗できず、価格に敏感な常連客の客離れが進んだ。鮮魚の仕入れ単価高騰が継続しており、十分な価格転嫁ができず収益悪化に陥っている。

(山梨県北杜市商工会)

・衣料品は気温が高くなり夏物の出方が不調。同様にエアコン等の季節家電も出方が鈍い。

青果・精肉は不調。惣菜はやや不調、アニサキスに関する報道の影響から水産物は2桁のマイナス。その他食品も全般的にやや不調。

(富山県射水市商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

・宿泊関係は年々微減であるが、価格や付加価値で差別化している事業者は利益率を上げてきている。団体客を相手にしてきたところは、苦戦している。

(長野県信濃町商工会)

・インバウンドは少し落ち着いたが、ビジネス需要により、宿泊業が引き続き好調である。

(滋賀県野洲市商工会)

・クリーニング関連のサービス業は、病院等のリネン関連があり安定している状況にある。

(青森県南部町商工会)

・旅館関連のサービス業は観光需要の高まりを受け好調。市内の大型宿泊施設では増築が進められている他、新たに民泊事業を行いたいとの相談が増えている。

(沖縄県南城市商工会)

・宿泊関連のサービス業が5月を過ぎこれから本格的になる行楽シーズに向けての販促活動や営業活動を行いその結果として売上については若干の上昇がみられる。

(宮城県本吉唐桑商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

・リラクゼーション関連のサービス業では、人材の確保が課題となっており、募集をかけているがなかなか応募がない状況と、人材としての条件(勤務日数など)がなかなかマッチしていない状況で、人手不足が見られる。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・理・美容業は、来店サイクルの長期化が目立ち、特に美容業では、誘客目的の割引クーポンを導入するサロンが増えており、顧客獲得競争が増している。

(愛知県長久手市商工会)

・宿泊業に関しては、昨年の「真田丸」効果により順調であったが、今年に入り、落ち着いた感あり。

(和歌山県紀の川市商工会)

・宿泊関連のサービス業は、6月25日に長野県南部(木曾町・王滝村)を震源とする地震があった影響で、南木曾町においても宿泊キャンセルなどがあった。南木曾町では、地震による建物の損壊など直接被害はない。

(長野県南木曾商工会)

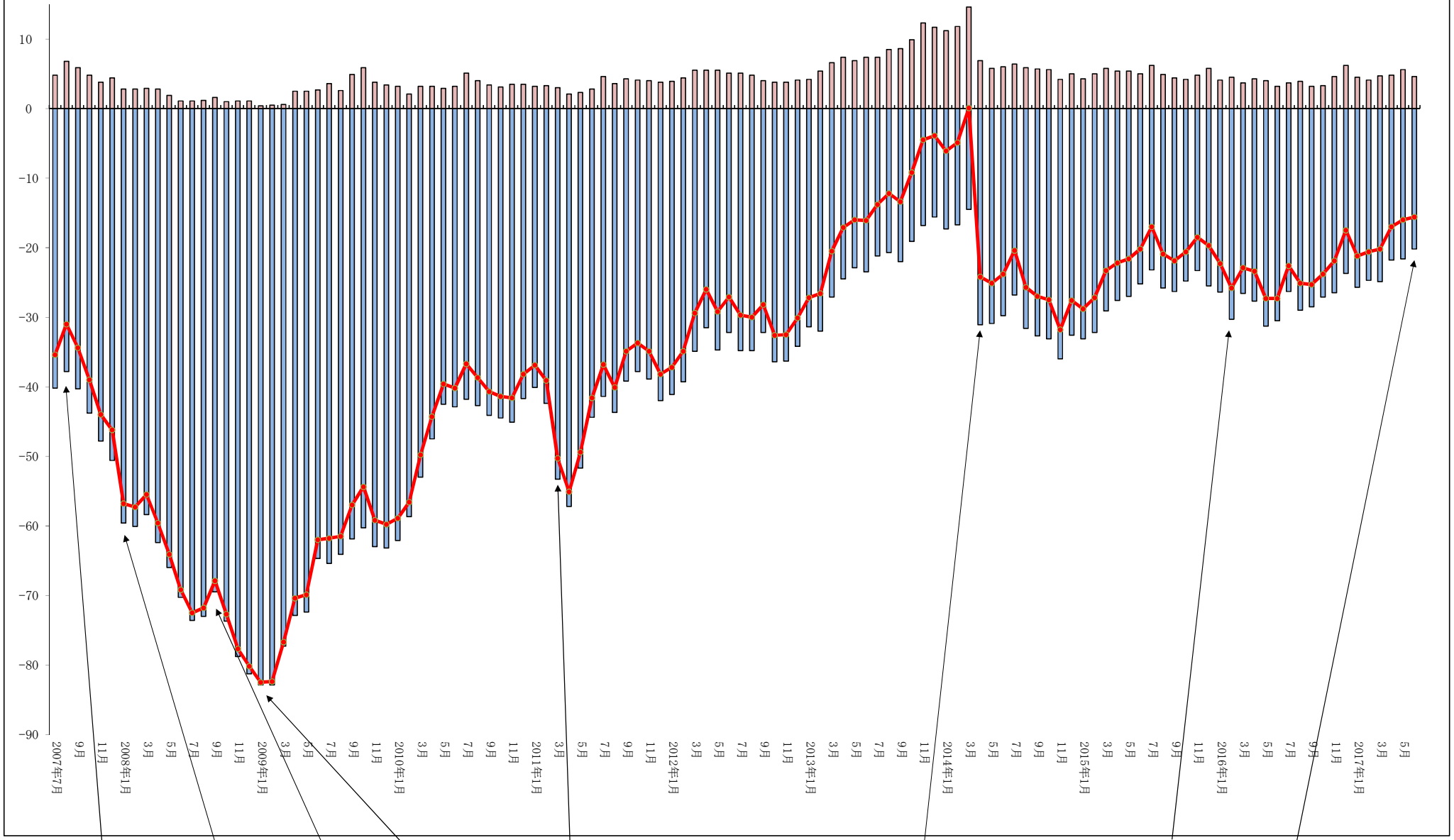
・旅行業は、度重なる大手格安バスツアー事故の影響で規制が強化され、対応に苦慮している。またツアー料金の設定が厳格化されており、全体的に割高になったことで利用者も減少傾向にある。

(栃木県黒羽商工会)

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



07年8月9日  
BNPパリバ、傘下の3ファ  
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日  
NY原油先物初  
の100ドル突破

08年09月15日  
リーマン破産  
法適用申請

09年1月  
調査開始以来最低数値  
(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上げ

16年2月16日  
日銀マイナス  
金利導入

17年/6月  
-15.6